

1 現状と課題

エコツーリズムのニーズが高まる
 >自然公園の利用形態の変化
 風景鑑賞中心 ⇒ 体験型観光等の利用の多様化

本県のエコツーリズムの現状・課題
 >推進の拠点となる場が地域に少ない
 ・ガイド人材と魅力的なエコツアーの不足
 ・一元的な情報発信、受け入れ体制がない



自然保護センター（霧ヶ峰・美ヶ原・志賀高原・乗鞍）を有効活用し、豊かな自然とふれあうエコツーリズムの拠点へ

2 信州ネイチャーセンター基本方針について（平成30年9月策定）

目指す姿

自然公園の「玄関口」として人と自然をつなぐ拠点

- ・ 自然公園に訪れたら最初に立ち寄る施設
- ・ 自然・文化を体験できるエコツーリズムの拠点施設
- ・ 多様な利用者が様々な目的で活用できる施設

方向性

① ツアーガイドの養成

質の高いエコツーリズムガイド人材の育成

② 自然保護センターの魅力向上

民間ガイド事業者によるツアーデスクの導入
 利用者のニーズに応じた多彩なエコツアーの提供

悪天候でも自然公園を楽しめる展示の充実
 映像展示や体験型展示の充実により悪天候でも地域の自然を体験できる施設

民間活力の活用等による利便性向上
 カフェ・ショップの設置やFree Wi-Fiの導入等により快適な休憩スペースの提供

③ 広域連携の強化

施設職員のスキルアップや施設の自然体験機能向上

④ 管理運営体制

多様な主体を巻き込んだ運営体制となるよう、各センターの特色を踏まえ、関係者と協議を行う

事業内容

① 自然体験促進事業

（エコツーリズムガイド研修会）

- ・ 質の高いエコツーリズムガイド人材を育成

② 自然保護センターの魅力向上

- ・ 県直営の霧ヶ峰自然保護センターから具体化を図る（霧ヶ峰自然保護センター機能強化方針）

③ エコツーリズム広域連携促進事業

- ・ 民間を含む県内ビジターセンターとの連携を図り、エコツアーの質の向上等につなげる

④ 管理運営体制

- ・ 施設ごとに関係者と協議

スケジュール

取組	R1	R2	R3	R4
① エコツーリズムガイド人材育成	ガイド研修会 （霧ヶ峰）	ガイド研修会 （美ヶ原）	ガイド研修会 （志賀高原）	ガイド研修会 （乗鞍）
③ エコツーリズム広域連携促進 県内ビジターセンターと連携	広域連携策の実施			

3 霧ヶ峰自然保護センター機能強化方針について（令和元年6月策定）

「信州ネイチャーセンター基本方針」に基づく機能強化の具体策として、霧ヶ峰自然保護センターの機能強化に取り組む。

目指す姿

- ・誰もが霧ヶ峰の魅力を満喫できる体験やフィールドの提供
- ・自然環境保全と観光利用の両立による地域振興への寄与

方向性

- ◆ **霧ヶ峰の魅力を伝える展示等の充実**
 - ・自然の魅力を学び、楽しむための展示の充実
- ◆ **センター及び周辺フィールドの整備**
 - ・自然保護センターへの誘導機能の強化、快適な休憩スペースの提供
- ◆ **質の高い自然体験プログラムの提供**
 - ・民間ガイド事業者と連携し自然保護センターを活用した多彩なエコツアーの展開
- ◆ **地域総合的な情報発信・提供機能の強化**
 - ・自然情報に加え、周辺の観光施設・交通・気象等の情報を関係者と連携し、提供
- ◆ **近隣施設等との連携**
 - ・情報提供の連携や相互PRによる回遊性の創出
- ◆ **ガイド人材の育成**
 - ・ガイドを生業の一部とする人材の育成を図り、魅力的なプログラムの開発
- ◆ **エコツアー関係者の交流・連携体制の構築**
 - ・エコツアーに関する一元的な情報発信の促進
- ◆ **自然環境の保全・再生**
 - ・魅力的な自然環境の提供（園地の魅力向上）
- ◆ **多様な主体の参画による管理運営体制の強化**
 - ・県直営の管理運営体制を見直し、質の向上

事業内容

- ① **霧ヶ峰自然保護センター拠点整備事業**
 - ・センター前に再生する草原植生等の景観を活かした施設整備を実施
 - ・映像コーナーを設置し、悪天候時にも楽しめる体験型展示を実施
 - ・フリーWi-Fiを設置（R元年度実施）
 - ② **自然体験促進事業（短時間エコツアー提供・情報発信強化）**
 - ・センター職員を1名配置し、短時間のエコツアーを企画・運営（R元年度実施）
 - ・HPを改修し、開花状況等、自然情報の発信を強化
 - ・周辺ビジターセンターとの回遊性を高めるモデルコースの設定（R元年度実施）
 - ・周辺ビジターセンター周遊ガイドマップの作成（日本語版・英語版）（R元年度実施）
- エコツーリズムガイド研修会（再掲）
- エコツーリズム広域連携促進事業（再掲）
- センター前の草原環境を再生するため、シカ除け電気柵を設置（R元年度実施）
- 指定管理者制度導入検討

スケジュール

取組	R1	R2	R3
① 霧ヶ峰自然保護センター拠点整備	Free Wi-Fi・電気柵の設置	設計委託	本工事
② 自然体験促進事業			
・センター職員による短時間エコツアーの提供	短時間エコツアーを企画・運営		
・モデルコースの設定	モデルコース設定	HP等による自然情報の発信	
・リアルタイムの情報発信		センターHPシステム改修	情報発信強化

4 予算額（案） 18,107千円

5 事業効果

自然保護センターを有効活用し、エコツーリズムの拠点として機能強化を図り、自然環境の保全と持続的な利用を推進する。

霧ヶ峰自然保護センター拠点整備事業について

1 センター前の草原植生の再生



平成28年



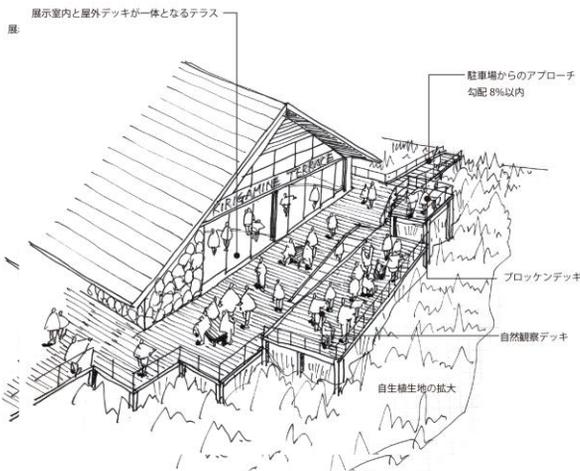
植生回復イメージ

平成19年当時

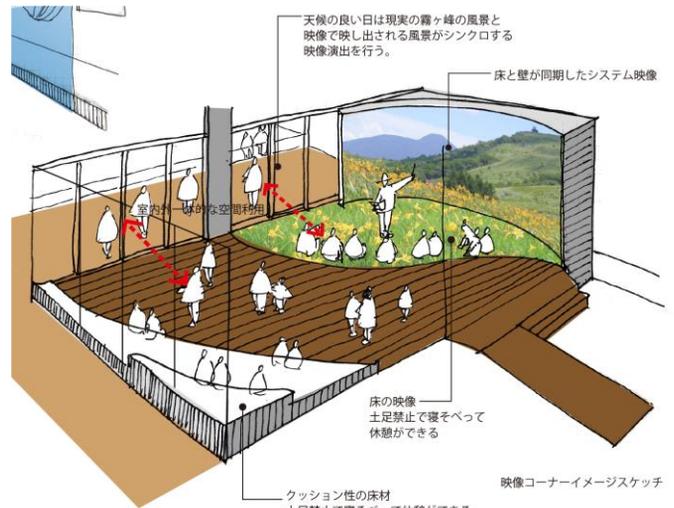
2 草原植生等の景観を活かした施設整備



施設整備のイメージ



展望テラス設置



映像コーナー設置

・ 快適な休憩スペースの提供

ニッコウキスゲ等、再生された草原植生を眺めながら、ゆっくり休憩できるスペースを提供する。

・ センターへの誘導機能の強化

隣接する駐車場からセンターへ誘導するため、デッキや展望テラスを設置し、誘導機能を高める。

・ 霧ヶ峰地域の魅力を伝える展示の充実

映像コーナーを設置し、悪天候時にも楽しめる体験型展示を行う。